

持続可能な地球環境への貢献

WEB より詳しい情報はサステナビリティサイトへ

リンテック 環境報告

検索



リンテックグループの考え

リンテックグループでは、企業活動と地球環境の調和を目指し「地球は一つ、大きな視野で快適環境に尽力しよう」をスローガンに、さまざまな取り組みを推進しています。

リンテックグループ品質・環境・事業継続方針

リンテックグループは「リンテックグループ活動指針」にある「品質・環境・事業継続方針」にて「基本方針」を掲げています。具体的な活動を実践するために「品質方針」「環境方針」「事業継続方針」を定め、それぞれに「行動指針」を示しています。

環境マネジメントシステム

リンテックグループは「品質・環境・事業継続方針」に基づき、地球環境保全に積極的に取り組んでいます。ISO 14001のグローバル統合では、2022年度は維持審査を受け、審査登録証 Issue16 (第16版) を取得。国内12登録事業所、海外10登録事業所で、情報共有を進めています。第三者検証では、電力購入量、用水使用量、CO₂排出量、廃棄物発生量および大気排出VOC*1量の検証を受け、修正すべき重要な事項はありませんでした。生物多様性の保全では、植樹活動や海岸などの清掃活動に継続して取り組んでいます。海洋プラスチックごみの削減に向けてCLOMA*2にも加盟し、一企業市民として環境配慮製品の提案と啓発にも取り組んでいます。

環境分野におけるリンテック中期目標 (2020年度～2022年度) と実績

対象範囲：リンテック(株)

項目	目標	2022年度実績 (前年度からの削減率)
CO ₂ 排出量	対前年度原単位で1%削減	18%改善 目標達成
電力使用量	対前年度原単位で1%削減	1.7%増加 目標未達
用水使用量	対前年度原単位で1%削減 (三島工場・熊谷工場の洋紙生産)	7.6%改善 目標達成
廃棄物発生量	対前年度発生量から0.1%削減	11%改善 目標達成

*1 VOC：Volatile Organic Compoundsの略称。大気中で気体状となる有機化合物の総称。
*2 CLOMA：Clean Ocean Material Allianceの略称。海洋プラスチックごみの削減に向けてプラスチック製品の持続可能な使用や代替素材の開発・導入を推進し、官民連携でイノベーションを加速化するためのプラットフォーム。経済産業省が主導。

TCFD提言への対応

2021年度は、2030年(中期)までを対象期間として気候変動に関する「リスク」「機会」を検討しましたが、2022年度は、新メンバーを加え、2050年(長期)までを対象期間に追加し、国内事業を対象に「世界観の策定」を進めながら「4℃、2℃または1.5℃以下」のシナリオ分析を実施しました。その結果、TCFD提言に沿った「移行リスク・物理的リスク」「機会」の特定、見直しを行いました。

さらに、財務的影響についての定量インパクト算出および事業への影響度、対応策の検討を行い「戦略」の開示情報の充実を図りました。

私のネクストステージ

当社ではサステナブルへの取り組みとして「Simply Sustainable」というブランドを立ち上げました。これは単なるブランドではなく、常に環境に対する最善策を選択し行動すること、また調達・製造・研究開発・多様性と平等の権利において、さまざまなイノベーションを推進する企業文化を構築することです。

当社工場では、廃棄物とCO₂排出量の削減に重点を置いています。塗工製品の廃棄物は、リサイクルまたは廃棄物発電施設に送ることで、廃棄物発生量を最小限に抑え、生産プロセスを合理化してCO₂排出量削減に努めています。また、塗工設備(2022年完成)や加工設備(2023年完成予定)へのLED照明の設置などの取り組みにも多くの投資を行ってきました。これらはCO₂排出量の削減だけでなく、メンテナンス時間や使用済み電球の廃棄処分が減り、従業員の作業負荷軽減につながります。

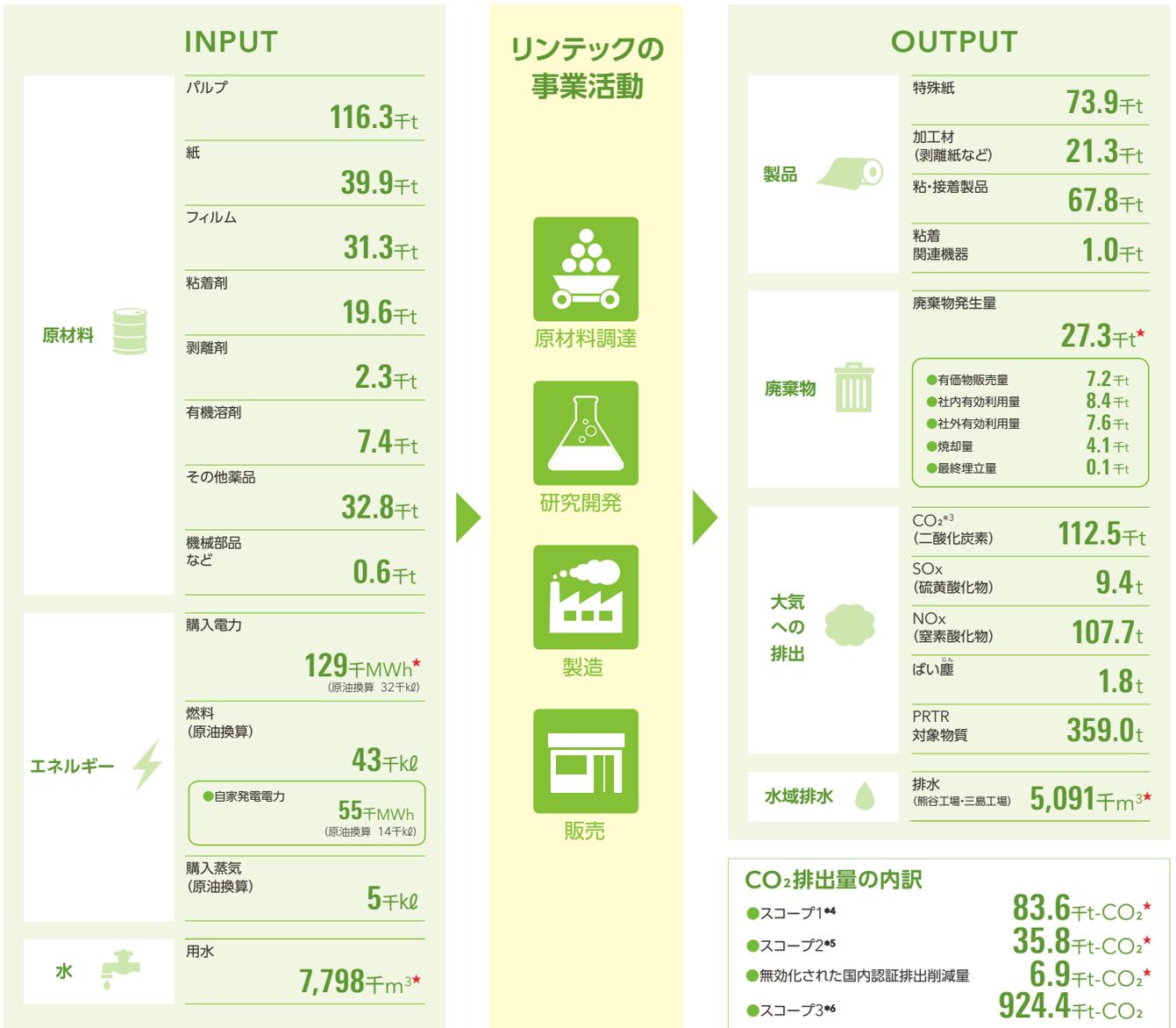
Simply Sustainable
<https://www.mactac.com/Simplysustainable>



マックタック・アメリカ社
サステナビリティマネージャー

Christina Barajas
(クリスティーナ・バラハス)

マテリアルフロー 対象範囲：リンテック(株)および東京リンテック加工(株)とし、そのほかの関係会社は含んでいません。



スコープ3の算定(抜粋)

算定には、各種ガイドライン*⁷を参照しています。ここでは排出量の多い5つのカテゴリーを抜粋しました。詳細はサイトをご覧ください。https://www.lintec.co.jp/sustainability/environment/relation/

カテゴリー項目	対象範囲	2022年度(t-CO ₂)	
カテゴリー1	購入した製品・サービス	リンテック(株)	719,374
カテゴリー3	スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	リンテック(株)、湘南リンテック加工(株)、東京リンテック加工(株)	38,595
カテゴリー4	輸送、配送(上流)	リンテック(株)、湘南リンテック加工(株)、東京リンテック加工(株)	37,326
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	リンテック(株)(伊奈テクノロジセンターを除く)および東京リンテック加工(株)	54,790
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	リンテック(株)	57,964

*3 湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)を含んで算定しています。
 *4 スコープ1：自社で購入した燃料の使用に伴い直接排出されたCO₂などの温室効果ガス排出量のこと。液化天然ガス(LNG)、プロパンガス(LPG)、都市ガス、灯油、軽油、ガソリンなど、ガスや液体燃料が対象。
 *5 スコープ2：自社で購入した電力や蒸気などを他社でつくる際に排出されるCO₂などの温室効果ガス排出量のこと。
 *6 スコープ3：自社が排出している温室効果ガス排出量であるスコープ1、スコープ2以外の自社の事業活動に関連する他社の温室効果ガスの排出量のこと。

*7 以下のガイドラインに従い算定しています。引き続き算定精度の向上に努めます。
 ・ Technical guidance for Calculating Scope3 Emission-Supplement to the Corporate Value Chain(Scope3) Accounting & Reporting Standard (GHG protocol(WRI/WBCSD))
 ・ サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース Ver.3.1(環境省・経済産業省)
 ・ IDEA Ver3.1(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)

持続可能な地球環境への貢献

WEB より詳しい情報はサステナビリティサイトへ

リンテック 環境報告

検索



循環型社会の実現

従来の3R(リデュース(ごみの減量)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化))の活動の継続による廃棄物発生量の削減に加え、さらなる分別のための細分類化により有効利用率の向上を図り、資源の循環に努めています。

サーキュラーエコノミー

持続可能な経済と環境を実現するため、製品や生産から廃棄物や汚染を出さない製品設計を行い、リサイクル資源を有効活用して新たな資源利用を抑え、製品の生産から利用、リサイクルに至るまで資源が循環するサーキュラーエコノミーへの移行を推進します。また2022年4月、海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化などに対応したプラスチック新法(プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律)が施行されたことを踏まえ、プラスチックの「設計・製造」段階での使用量削減、排出量削減、再資源化への取り組みを進めていきます。

生物多様性保全のための取り組み

リンテックグループでは、リンテックグループ品質・環境・事業継続方針に「生物多様性の保全」を掲げ、国内外において、生物多様性の保全活動に取り組んでいます。

国内の龍野工場では、保全種リストの「アサノハカエデ」と、工場緑化目的の「ベニカナメ」の維持管理・観察を行っています。千葉工場では、2022年6月に初めて、倉庫西側の壁一面に「植物のカーテン」を実施し、ツルの長さも4メートルを超え、8月には写真のようになりました。今後も身近な活動を進めていきます。



龍野工場「アサノハカエデ」



千葉工場「植物のカーテン」

ゼロエミッション*に向けた取り組み

処理業者の処理方法(マテリアルリサイクル・サーマルリサイクル・埋立)を把握し、有効利用できる業者の探索、再資源化できる材料への転換、分別の細分類化などを行い、埋め立て処分ゼロを目指して取り組んでいます。

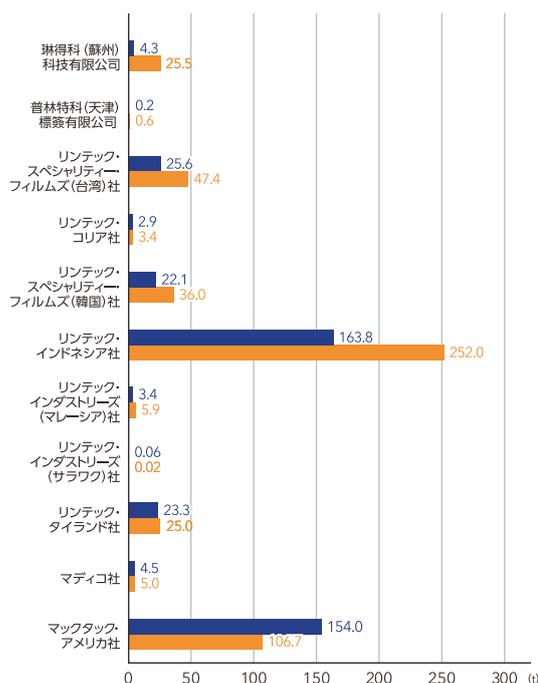
■ 廃棄物の流れ(2022年度)

対象範囲：リンテック(株)の本社、10生産拠点、研究所、東京リンテック加工(株)



海外グループ会社の環境データ

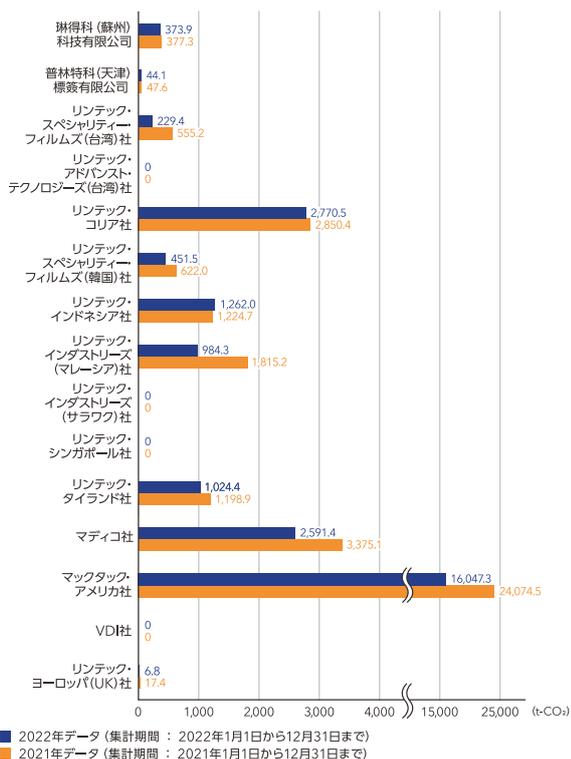
■ VOC排出量



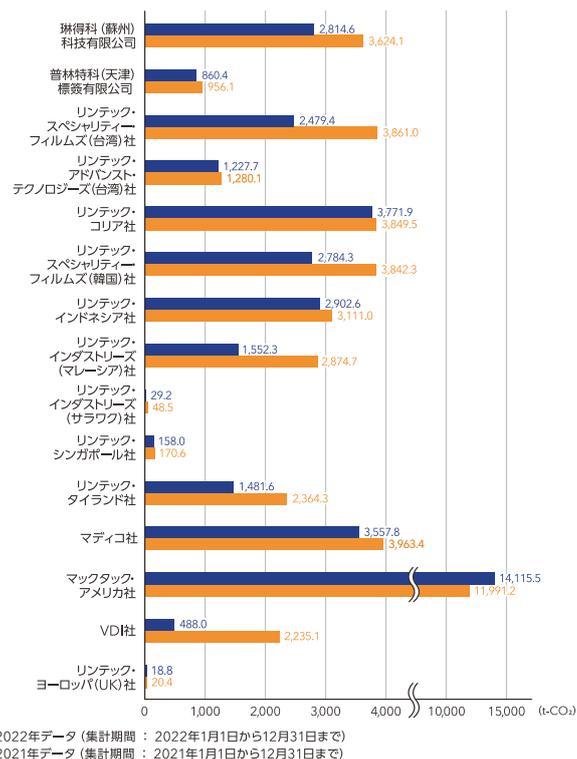
■ 2022年データ (集計期間：2022年1月1日から12月31日まで)
 ■ 2021年データ (集計期間：2021年1月1日から12月31日まで)

* ゼロエミッション：リンテックでは、最終埋立比率(最終埋立量/廃棄物発生量×100で求められる数値)が1%以下であることが基準。

■ スコープ1



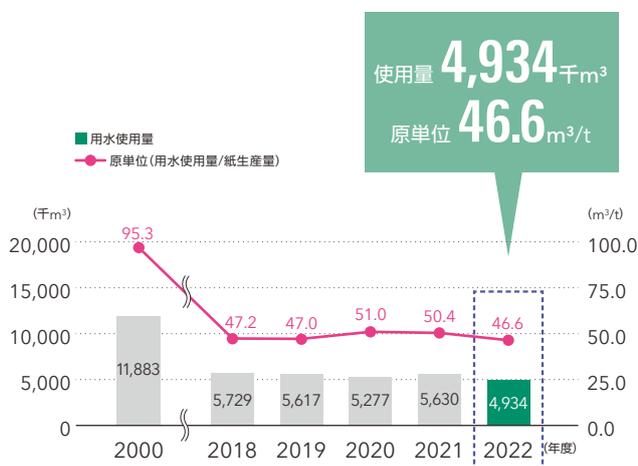
■ スコープ2



その他の環境データ

■ 用水使用量

対象範囲: 熊谷工場、三島工場の洋紙生産



■ 廃棄物発生量

対象範囲: リンテック(株)の本社、10生産拠点、研究所、東京リンテック加工(株)

